**Ⅲ　財　　　　　産**

一般会計、特別会計歳入歳出決算書とともに提出された「財産に関する調書」に基づく府有財産の平成23年度末現在高は次のとおりである。

１　公有財産



注：１　建物は延面積で示す。　　　２　立木は推定蓄積量で示す。

３　立木について、面積が80,182.92㎡増加し、推定蓄積量は691,524本減少しているが、本数により管理していた府内４カ所にある農と緑の総合事務所において、管理方法を面積による管理に変更したことにより、推定蓄積量は減少する一方、面積は増加している。

２　物　　品



注：重要な物品について記載した。

３　債　　権



決算年度中の増減高は382億4,600万円の増加となっている。増減の内訳は、大阪府営水道企業債償還債務負担金431億3,400万円など12件、合計542億4,300万円が増加し、他方、大阪府市町村施設整備資金貸付金76億円など52件、合計159億9,700万円が減少している。なお、当年度中に貸付け及び償還が行われる単年度貸付金は本表には含まれていない。

「主な債権の増減」



４　基　　金





[基金残高の推移]



平成23年度末の基金残高（運用金として一般会計に繰り入れた額並びに用品調達基

金及び災害救助基金の動産を除く）は、6,123億4,900万円であり、前年度末と比較し

1,065億4,100万円、率にして21.1％増加しているが、これは減債基金672億9,100万

円、財政調整基金700億1,100万円を積み立てたことによるものである。

なお、減債基金の積立不足額が平成23年度末で4,253億円あり、今後も不足額の解

消を進めることが必要である。